いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２０８
２０２４（令和６）年８月２６日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ



『　清流　後志利別川と清流の女王　鮎　』

今金町教育委員　　永　井　　章

７月上旬、令和５年度全国一級河川水質調査で後志利別川が「水質が最も良好な河川」に選出されました。今回で２３回目の選出で日本一きれいな川と言ってもいいでしょうか？私の仕事柄、後志利別川には大変お世話になりっぱなしでございます。

そして、７月２７日には第一回清流まつりが開催されました。私は鮎釣り体験のスタッフをさせてもらいました。小中学生９名が４名と５名の２組に分かれて体験会を行いました。

鮎釣りといっても鮎はエサではつれません。友釣りになります。**（友釣りとは、鮎の縄張り習性を利用してオトリ鮎に突撃させて釣針に引っ掛ける釣法のことです。）**

今では地元でも友釣りをする方は２～３名くらいなものです。ほとんどは道央や本州の方が後志利別川の天然鮎を狙いに来ています。

子供たちの鮎釣り体験ですが、ノジマフィッシングスクールのみなさんのご協力により多い子で４～５匹の鮎を掛けていました。大きい鮎は 25cm ほどありました。

小雨の降る中１時間弱、ひざ下まで川の中につかり冷たさを忘れているかのように友釣りを楽しんでしました。オトリ鮎をポイントまで送るのが難しいようでしたが、鮎が掛かった瞬間や取り込み時の竿のしなりや重たさなどは、実際に体験してみないとわからないことなのでとっても貴重な体験だったと思います。

実は、私は鮎の友釣りはやったことがありません。目の前で見ていて心の中で「やってみた～い」と思っていました。そして、リアルな体験ってやっぱり楽しいことだとあらためて思いました。

体験会が終わりご家庭に帰った子供たちは清流の女王・後志利別川の天然鮎を家族みなさんでおいしくいただいたことでしょう！　自然の恵みに感謝です。ごちそうさまでした。

P.S.　９月１日は、後志利別川のカヌー川下り体験に行ってきま～す。





夏休み明け　学校が再開し、子どもたちが学校に戻って来ました。校門前で子どもたちを迎える校長先生の姿も久しぶり。いつもは私の車の方をちらっと見て挨拶してくださる校長先生も、今日はこちらも見ずに(^_^;)ずっと子どもたちとお話しされていました。分かるなあ･･･いいなあ。

また冬までどうぞよろしくおねがいしまーす。

楽しい学校、次の日の朝が楽しみになる日々が子どもたち、教育関係者に続き続けますように。

